

岸田大軍拡 軍事費倍増へ

11兆円

医療・社会保障は大削減へ
消費税大増税

6月下旬に公示される参議院選挙。「戦争か、平和か」が問われる選挙です。自民党や日本維新の会は「日本が攻められたら」と軍事力強化を叫びますが、「戦争を起こさせない」ための外交努力は口にしません。コロナ禍と物価高騰のもとでやるべきことは、医療・公衆衛生の拡充であり、消費税の減税です。私たちの「一票」で、「戦争する国づくり」ではなく、憲法をいかしてくらしといのち最優先の政治を実現しましょう。

2020年の世界の軍事費上位10カ国

1	米国	7780億ドル
2	中国	2520億ドル
3	インド	729億ドル
4	ロシア	617億ドル
5	英国	592億ドル
6	サウジアラビア	575億ドル
7	ドイツ	528億ドル
8	フランス	527億ドル
9	日本	491億ドル
10	韓国	457億ドル

軍事費が倍増すると

ストックホルム国際平和研究所の資料から作成

公明、維新、国民民主も

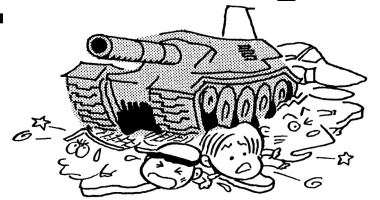
自民党は、5年以内に軍事費を倍の11兆円以上にすると言いき、公明党や維新の会、国民民主党も同調しています。「骨太の方針」でも「5年以内に抜本的に強化する」と踏み込みました。大軍拡は消費税大増税や社会保障予算の削減に直結します。私たちの暮らしは大打撃です。

9条改憲は許さない

自民党や公明党、維新の会、国民民主党などは、中国や北朝鮮、ロシアの脅威から日本を守るために敵基地攻撃能力を保有すると言いき、その足かせとなる憲法9条を変えようとしています。自衛隊が憲法に明記されると、台湾有事で米中が衝突すれば、集団的自衛権によって自衛隊が参戦し、日本が戦場になってしまいます。戦争をさせないためにも9条改憲を許してはなりません。参議院選挙で改憲政党を3分の2割れに追い込みましょう。



軍事費が倍になれば
世界第3位の
軍事大国に！
ロシアを上回る



平和、くらしを守る
政治に転換しましょう